

# 2025年度 事業計画

～ 「四国が目指す将来像」の実現に向けた“共創と飛躍” ～

## I. 現状認識

「アメリカ・ファースト」を掲げるトランプ大統領の就任により、保護主義の広がりや環境政策の後退などが懸念されている。米中間での覇権争奪を巡る対立やヨーロッパにおける極右勢力の台頭など、国際情勢は不透明感や緊迫の度合いを強めている。こうした中、我が国では、人口減少や少子高齢化が急速に進行しており、特に、四国など地方においては、大都市圏への若者流出もあり、人手不足感が一段と深刻化している。また、南海トラフ地震の発生リスクについては、「南海トラフ地震臨時情報」が初めて発表されたほか、今後30年以内の発生確率が、これまでの「70%～80%」から「80%程度」に引き上げられた。

四経連としては、こうした困難かつ急激な時代環境の変化に直面していることを認識しつつ、施策の実効性向上に取り組む。このため、今年度は、四国創生の思いを共有する幅広い主体との連携をさらに強化することなどにより、「四国が目指す将来像」の実現に向けた活動内容のさらなるレベルアップを図る“共創と飛躍”の年と位置付ける。

また、「『住んで良し、働いて良し、遊んで良し』の四国」を一つのキーワードに、四国ならではの強みや特性を活かすという視点を強く意識した、独自色豊かな「地方創生」に積極的に挑戦していく。

## II. 活動の基本方針

こうした認識のもと、2025年度は、以下の基本方針のもとに事業を展開する。

### 1. 四国創生の思いを共有する幅広い主体との連携強化

四国の自治体や大学、他の経済団体など、四国創生の思いを共有する幅広い主体との連携をさらに強化することなどにより、活動内容のさらなるレベルアップを図る。

### 2. 四国の強みや特性に着目した「アクションタンク」機能のレベルアップ

4つの委員会を中心に、四国ならではの強みや特性を活かすという視点を強く意識した、「四国が目指す将来像」のアクションテーマの具体化を、PDCAサイクルの徹底のもと、強力に推進する。

### 3. 様々な媒体の活用による広報活動の充実・強化

四経連活動に対する認知度向上・理解促進を図るため、四経連の会報やホームページ等によるタイムリーかつ充実した情報提供を行うとともに、マスコミや連携団体の媒体を通じた情報発信にも積極的に取り組む。

### Ⅲ. 事業活動

2025年度は、引き続き「四国が目指す将来像」で取り上げたアクションテーマの実践を軸として、以下の取組みを進めていく。

#### 1. 地域経済の成長力・持続力の強化〔産業振興委員会〕

##### (1) グリーン・トランスフォーメーション（GX）に向けた取組み

- ・四国における脱炭素に向けた機運醸成を図るため、脱炭素に先進的に取り組む企業のトップなどを招いた講演会を開催する。
- ・四国の産学官の主に実務者クラスが参加する「脱炭素推進研究会」の活動を通じて、企業や地域の脱炭素化を促進させる。
- ・四国各地で脱炭素に取り組む官民組織や自治体などと積極的に連携し、脱炭素と地域創生の両立を目指す。

##### (2) ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン（DE&I）の推進

- ・地域ぐるみのDE&Iの推進に向け、四国の企業が今後の取組み方針等を宣言するとともに、その達成状況を開示する仕組みなどを検討する。（人口減少対策委員会との共同事業）**新規**
- ・外国人留学生の採用拡大をはじめ、高度外国人材の活躍推進につながる取組みを検討・実施する。

##### (3) スタートアップ支援、イノベーション・産学連携の推進、起業人材の育成

- ・オンラインマッチングイベント「四国イノベーションピッチ」の開催などを通じて、四国の有望スタートアップ企業の成長や、四国の大学のシーズの事業化を支援する。
- ・産学官連携の進め方や成功事例等を紹介するセミナーの開催など、オープンイノベーション推進に向けた取組みを検討・実施する。
- ・起業人材育成に向け、四国の大学・高専生によるビジネスプランコンテスト「キャンパスベンチャーグランプリ（CVG）四国」を継続開催する。

##### (4) 四国産品の販路拡大支援、国際ビジネス交流の促進

- ・会員企業のネットワークやリソース等を活用した四国産品の販路拡大支援方策を検討・実施する。
- ・JETROや中小企業基盤整備機構との連携等により、国際ビジネス交流の促進に取り組む。

## 2. 広域的な観光振興の推進 [観光振興委員会]

### (1) 「四国の観光ビジョン」の具現化に向けた活動の推進

- ・ (一社) 四国ツーリズム創造機構、四国アライアンス、四経連が共同で策定・公表した「四国の観光ビジョン (2021~2025)」の実現に向け、以下の取組みを進める。
  - ・ 四国の観光関連事業者を対象に、観光分野に精通した専門人材によるセミナーを開催し、「大阪・関西万博」等で拡大が見込まれているインバウンドの誘客に向けた取組みのヒント、手掛かりを習得してもらう。
  - ・ 「大阪・関西万博」期間中、四経連事務局が会場を視察・取材し、常設パビリオンの外観、コンセプト、展示内容など最新情報を広く発信することで、万博の機運醸成や来場意欲の向上につながるよう広報啓発活動を強化する。**新規**
  - ・ 「大阪・関西万博」の盛り上げを通じ、西日本エリアとの連携を強化し、各地域の観光振興施策情報の収集、域内への還元、四国域内の施策との連携の後押しなどにより、広域周遊観光振興をサポートする。

### (2) 四国遍路文化の維持・継承に向けた機運醸成への取組み

- ・ 四国遍路文化の維持・継承に向け、行政、NPOなどの地域団体、経済界などの間をつなぎ、様々な主体が個別に行っている活動について、連携の輪を広げ、地域コミュニティ全体で取組みの活性化を図る。

具体的には、「NPO法人遍路とおもてなしのネットワーク」や「(一社) 四国八十八ヶ所霊場会」などと協働で策定した、遍路文化の維持・継承のための「ありたい姿」とその実現に向けた3つの取組み (①四国の遍路文化の再評価、②保存・継承の取組みの自然な広がり、③四国遍路の課題への連携した対応) を計画、実施する。
- ・ 四国遍路の機運醸成に向けた取組みのうち、四国4県で同時開催される大規模イベントである「一日一斉おもてなし遍路道ウォーク」を地域の誰もが知り親しむ四国遍路の象徴的イベントにすることを目指し、主催NPO等と連携し、更なる認知度向上・参加者拡大に向けて取組みを強化する。
- ・ 四国遍路世界遺産登録推進協議会 普及啓発部会の一員として、一般の方の日常に馴染みやすい取組み等を企画・実施することで、「四国遍路の魅力」を若い世代も含めて、幅広く伝え、関心を持ってもらい、四国遍路の保存・継承に向けた機運を醸成する。

### 3. 地域経済の維持・発展に向けたデジタル技術の活用促進 [DX推進委員会]

昨年度に引き続き、「四国DX推進戦略」（四国におけるデジタル化・DXを推進していく上での活動指針）に基づき、各委員会とも連携しながら、以下の取組みを中長期的な視点で進めていく。

#### (1) DX推進に向けた意識啓発・社会実装支援

- ・経営層や経営幹部、次世代リーダーを中心に、DXの活用事例や先進デジタル技術等について学ぶ機会を提供。企業の変革風土の機運醸成やDXビジョンへの展開等を支援する。
- ・マネジメント層や実務者クラスを中心に、先進的なデジタル技術に関する情報共有や、ITを活用したソリューション事例の紹介、実務体験などの機会を提供。デジタル技術の社会実装を支援する。
- ・オンライン上でデジタルツールに関する機能説明や複数社のシステム比較会を開催。デジタルツールの理解とともに、自社に合うシステム選びを支援する。**新規**

#### (2) リスキリングに資する機会の提供

- ・eラーニングの豊富なコンテンツを有する外部機関と連携して、多様な学びの場を提供。新たに学習をはじめるときっかけづくりやデジタル知識の向上、スキルの習得につながるリスキリングを支援する。
- ・外部機関と連携して、対面による実践的な学びの場を提供。デジタル知識の向上やスキルの習得だけでなく、ワークショップや操作体験を通じて、DX推進の中心的な人材の育成を支援する。

#### (3) 地域の課題解決に向けたデジタル技術の活用検討

- ・四国における交通利便性の維持に向け、引き続き四国内外の活用状況・先進事例等の調査や会員等への情報共有を行い、デジタル技術を活用した持続的な公共交通サービス構築を支援する。
- ・一次産業振興に向け、引き続き四国内外の活用状況・先進事例等の調査や会員等への情報共有を行い、デジタル技術を活用した一次産業の生産性向上や競争力強化を支援する。
- ・その他、観光などデジタル化の機運が高まっている分野での取組み状況や大学での先進事例等を調査し、情報発信する。**新規**

#### 4. 人口減少問題への対応〔人口減少対策委員会〕

##### (1) ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン（DE&I）の推進

- ・四国における更なる女性活躍を推進していくため、他の経済団体と連携し、「四国女性活躍フォーラム」を開催し、企業間のネットワーキングの場を提供する。
- ・会員企業の中で社業発展などに成果を上げている女性の活躍ぶりを取り上げ、四国産業界における女性活躍のロールモデルとしてW e bで情報発信する。

##### (2) 若者に選択される労働市場（Uターン就職等）への取組み

- ・四国外の若者の還流を促すため、四国4県と四経連で構成する「四国U I Jターン就職促進協議会」の共同幹事として、四国外の学生・社会人を対象とした合同企業説明会を開催する。

また、都市部の若者の地方に対する関心を高め、四国へのU I Jターンを促進するため、実際に四国にU I Jターン就職した方のインタビュー記事をW e bで情報発信する。

- ・四国の大学生の域外流出抑制施策として、大学生の就活動向や企業の採用事情などについて産学間の相互理解を深めるため、「四国の大学生の地元定着に向けた産学情報交換会」を開催する。

また、学生に地元企業の事業内容や技術開発動向、必要とする人材像などを伝えるため、香川大学創造工学部「地域企業ニーズ概論」に四経連事務局ならびに会員企業から講師を派遣する。

さらに、こうした取組みを拡大し、徳島・鳴門教育・香川・愛媛・高知大学が共同で開講しているeラーニング科目「知のプラットフォーム形成事業」に、会員企業のコンテンツを提供する。新規

##### (3) 企業の教育への関わり方に関する調査

- ・企業の教育への関わり方について、四国内の取組み事例の調査や企業・高校へのヒアリング等をもとに取りまとめた報告書を公表するとともに、同報告書の説明や取組み事例の紹介を行うセミナーを開催し、キャリア教育の一層の理解促進、機運醸成を図る。

## 5. 交通インフラ整備、防災・減災対策

### (1) 四国新幹線の実現に向けた取組みへの参画・協力

- ・四国新幹線整備促進期成会が掲げる中長期目標「リニア中央新幹線が新大阪までつながる 2037 年を一つのターゲットとして四国新幹線の開業を目指す」に沿って、四国新幹線の実現に向けた以下の取組みに参画・協力する。
  - ・四国新幹線の早期実現を望む四国の熱意を中央にアピールする「第7回東京大会」
  - ・四国新幹線の整備計画への早期格上げと新幹線建設予算の大幅増額を求める要望活動
  - ・四国新幹線整備への機運を醸成・浸透させるための大規模な署名活動と国への提出
  - ・講演会、勉強会での講師対応
  - ・四国新幹線の理解促進や早期実現に向けた機運醸成の輪を広げるための SNS の積極的活用、イベントやシンポジウムでの着ぐるみを活用した広報啓発活動
  - ・四国新幹線に関する応援の輪を広げるため、四国新幹線に関する機運醸成活動を行う他団体との連携・支援 など

### (2) 四国の高速道路整備の推進に向けた取組みへの参画・協力

- ・四国の4県知事と四経連会長で構成する「四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会」を中心に、四国の高速道路のミッシングリンク解消、暫定2車線区間の4車線化推進等に向けた要望活動を展開する。

### (3) 空港・港湾・地域交通網の維持

- ・観光や物流、防災の拠点となる空港・港湾の整備促進に向けた議論に参画し、経済界の立場から協力・支援する。

### (4) 防災・減災対策

- ・他経済団体等とも連携し、四国地域・企業の防災・減災対策の強化に資する施策の充実・強化を国に働きかけていく。
- ・南海トラフ地震対策をはじめ防災・減災対策を進めるための議論に参画し、経済界の立場から協力・支援する。

## 6. 広報活動、調査活動、組織強化

### (1) 広報活動

- ・ 四経連の会報やホームページについて、タイムリーな活動報告を行うとともに発信内容の充実に努める。
- ・ 四経連活動の認知度向上・理解促進に向け、四経連主催のイベント等について、マスコミや連携団体の媒体を通じた積極的な情報発信に努める。

### (2) 調査活動

- ・ 四経連景気動向調査（四半期ごと）を計画的に実施し、その結果を公表する。
- ・ 景気ウォッチャー調査（内閣府からの受託調査・毎月）を適切に実施する。
- ・ 人口や面積の規模感が比較的四国と近いポルトガル国を中心に、「観光振興」と「地域産業の持続的発展」を調査テーマとした海外経済視察を実施する。新規

### (3) 組織強化

- ・ 四経連の組織強化を図るため、新規入会の勧誘ならびに退会抑制に努める。

## 7. 行政や他の経済団体との連携、会員交流行事の開催

- ・ 「明日の地域づくりを考える四国会議」による提言・要望
- ・ 「四国の4県知事と経済団体代表者による懇談会」の開催
- ・ 「中四国サミット」への参画および提言・要望
- ・ 「瀬戸内海クルーズ推進会議」や「Setouchi Vélo 協議会」への参画
- ・ 他地域の経済連合会との意見交換の実施
- ・ 「西日本経済協議会」への参画および決議事項の要望
- ・ 経団連との「四国地域経済懇談会」の開催
- ・ 四国新年交流会、四経連懇話会等の開催